

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【公開番号】特開2005-123739(P2005-123739A)
 【公開日】平成17年5月12日(2005.5.12)
 【年通号数】公開・登録公報2005-018
 【出願番号】特願2003-354142(P2003-354142)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/28 2 0 0 M

H 0 4 L 12/28 4 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月13日(2006.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シリアルデータを送受信可能なシリアルバスを介して、データを送信する送信ノードと、上記送信ノードから送信されたデータを受信する受信ノードとが接続された通信システムであって、

制御データを出力する制御手段を有し、

上記送信ノードは、上記シリアルバスを介してデータを送信するための送信手段と、上記送信手段にデータを出力可能な出力手段を有するとともに、上記制御手段からの制御データにより制御可能な所定の機能を有する機能動作手段と、上記送信手段と上記出力手段との接続状態を制御する通信路制御手段とを有し、

上記制御データは、一の制御命令を用いて送信可能な上記送信手段と上記出力手段との接続状態を制御するための制御データを含むことを特徴とする通信システム。

【請求項2】

上記制御データは、上記送信手段を識別するデータおよび上記出力手段を識別するためのデータを含むことを特徴とする請求項1に記載の通信システム。

【請求項3】

上記制御データは、さらに上記送信手段と上記出力手段との接続状態の制御にて排他制御を行うためのデータを含むことを特徴とする請求項1または2に記載の通信システム。

【請求項4】

上記機能動作手段は、データを記録するための記録手段であり、

上記送信手段は、上記記録手段に記録されたデータを送信可能であることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の通信システム。

【請求項5】

シリアルデータを送受信可能なシリアルバスを介して、データを送信する送信ノードと、上記送信ノードから送信されたデータを受信する受信ノードとが接続された通信システムであって、

制御データを出力する制御手段を有し、

上記受信ノードは、上記シリアルバスを介してデータを受信するための受信手段と、上記受信手段で受信したデータを入力可能な入力手段を有するとともに、上記制御手段から

の制御データにより制御可能な所定の機能を有する機能動作手段と、上記受信手段と上記入力手段との接続状態を制御する通信路制御手段とを有し、

上記制御データは、一の制御命令を用いて送信可能な上記受信手段と上記入力手段との接続状態を制御するための制御データを含むことを特徴とする通信システム。

【請求項 6】

上記制御データは、上記受信手段を識別するデータおよび上記入力手段を識別するためのデータを含むことを特徴とする請求項 5 に記載の通信システム。

【請求項 7】

上記制御データは、さらに上記受信手段と上記入力手段との接続状態の制御にて排他制御を行うためのデータを含むことを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の通信システム。

【請求項 8】

上記シリアルバスは、IEEE 1394 規格に準拠したシリアルバスであり、上記送信ノードと上記受信ノードとの間でのデータの送受信はアシンクロナス転送により行われることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれかに記載の通信システム。

【請求項 9】

シリアルデータを送受信可能なシリアルバスを介して、データを受信する受信ノードに接続された端末装置であって、

上記シリアルバスを介してデータを送信するための送信手段と、

上記送信手段にデータを出力可能な出力手段を有するとともに、制御データに基づいて制御可能な所定の機能を有する機能動作手段と、

上記送信手段と上記出力手段との接続状態を、一の制御命令を用いて送信された制御データに基づいて制御可能な通信路制御手段とを有することを特徴とする端末装置。

【請求項 10】

上記一の制御命令を用いて送信される制御データは、上記送信手段と上記出力手段との接続状態の制御にて排他制御を行うためのデータを含むことを特徴とする請求項 9 に記載の端末装置。

【請求項 11】

シリアルデータを送受信可能なシリアルバスを介して、データを送信する送信ノードに接続された端末装置であって、

上記シリアルバスを介してデータを受信するための受信手段と、

上記受信手段で受信したデータを入力可能な入力手段を有するとともに、制御データに基づいて制御可能な所定の機能を有する機能動作手段と、

上記受信手段と上記入力手段との接続状態を、一の制御命令を用いて送信された制御データに基づいて制御可能な通信路制御手段とを有することを特徴とする端末装置。

【請求項 12】

上記一の制御命令を用いて送信される制御データは、上記受信手段と上記入力手段との接続状態の制御にて排他制御を行うためのデータを含むことを特徴とする請求項 11 に記載の端末装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信システムおよび端末装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、データ通信を行う通信システムおよび端末装置に用いて好適なものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明に係る通信システムは、シリアルデータを送受信可能なシリアルバスを介して、データを送信する送信ノードと、上記送信ノードから送信されたデータを受信する受信ノードとが接続された通信システムであって、制御データを出力する制御手段を有し、上記送信ノードは、上記シリアルバスを介してデータを送信するための送信手段と、上記送信手段にデータを出力可能な出力手段を有するとともに、上記制御手段からの制御データにより制御可能な所定の機能を有する機能動作手段と、上記送信手段と上記出力手段との接続状態を制御する通信路制御手段とを有し、上記制御データは、一の制御命令を用いて送信可能な上記送信手段と上記出力手段との接続状態を制御するための制御データを含むことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明に係る他の通信システムは、シリアルデータを送受信可能なシリアルバスを介して、データを送信する送信ノードと、上記送信ノードから送信されたデータを受信する受信ノードとが接続された通信システムであって、制御データを出力する制御手段を有し、上記受信ノードは、上記シリアルバスを介してデータを受信するための受信手段と、上記受信手段で受信したデータを入力可能な入力手段を有するとともに、上記制御手段からの制御データにより制御可能な所定の機能を有する機能動作手段と、上記受信手段と上記入力手段との接続状態を制御する通信路制御手段とを有し、上記制御データは、一の制御命令を用いて送信可能な上記受信手段と上記入力手段との接続状態を制御するための制御データを含むことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

本発明に係る端末装置は、シリアルデータを送受信可能なシリアルバスを介して、データを受信する受信ノードに接続された端末装置であって、上記シリアルバスを介してデータを送信するための送信手段と、上記送信手段にデータを出力可能な出力手段を有するとともに、制御データに基づいて制御可能な所定の機能を有する機能動作手段と、上記送信手段と上記出力手段との接続状態を、一の制御命令を用いて送信された制御データに基づいて制御可能な通信路制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

本発明に係る他の端末装置は、シリアルデータを送受信可能なシリアルバスを介して、データを送信する送信ノードに接続された端末装置であって、上記シリアルバスを介してデータを受信するための受信手段と、上記受信手段で受信したデータを入力可能な入力手段を有するとともに、制御データに基づいて制御可能な所定の機能を有する機能動作手段と、上記受信手段と上記入力手段との接続状態を、一の制御命令を用いて送信された制御データに基づいて制御可能な通信路制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】削除

【補正の内容】